

(様式 2)
議事録番号

提出 2025 年 3 月 11 日

会合議事録

研究会名：固液界面研究会

日 時：2025 年 3 月 6 日 13:00-15:00

場 所：オンライン

出席者：(議事録記載者に下線) 原田慈久, 隅谷和嗣, 若林裕助, ほか
計 23 名

議題：放射光による固液界面研究の技術紹介と施設への期待

議事内容：

前回は対面開催で出席者 6 名であった。今回はオンライン開催とした結果か、出席者は大きく増えた。プログラムは以下の通りである。

13:00 はじめに

東北大 若林裕助

13:05 in situ XAFS 用加熱フローセルシステムの開発と無電解ニッケルめっき反応の解析

日産化学 中島淳一

13:35 Surface structure modulation during electrochemical processes on water splitting catalyst LaSrCoO₃ film

東北大 Xu Xuhui

14:05 In-situ 軟 X 線発光分光と分子シミュレーションを用いた短鎖撥水膜界面における水分子の相互作用解析

東大物性研/AGC 富依勇佑

14:35 総合討論

東北大 若林裕助

Xu, 富依の両氏は博士課程学生であり、前回研究会での「次回以降はなるべく若い人を呼び込めるようにしよう」という反省(昨年度議事録参照)を基にし

たプログラム構成とした。

中島氏より、無電解めっき処理中の In situ XAFS 測定の技術的な話と、それを活用しためっき処理の時間発展の解析について紹介があった。白色 X 線を用いた計測を行うことの利点が示された。Xu 氏からは表面回折法による電気化学処理中の界面構造の報告があった。富依氏からは自己組織化単分子膜の親水性/撥水性に関する発光分光実験, 及びそれに対応する DFT 計算の報告がなされた。

総合討論では、施設の現状に関する情報交換を主に行った。